

感想

この度はご講演いただき、ありがとうございました。

家で新聞を取っているのですがどのようにつくられているのか気になっていましたが、細かなレイアウトの配置やちょっとした言葉の違いなどにもよく配慮されていて、だからこそネット社会と言われている今でも読み続ける人がいるのだと感じました。

あのクオリティの新聞を毎日作り続けることはかなり大変な仕事だと思いました。それでもそれを発行できているのはそれぞれが各々の長けているところを活かし、働いているからこそなのだと思います。

講演を聞いたあとに新聞を見て、お話されていた細かいところまでよく読むといつもより楽しく新聞を読めた気がします。

本当にありがとうございました。

新聞について知らないことを聞いてよかった。

新聞はたくさんの方が関わってできているものだと知り、新聞にかけている重さに感動しました。一枚の写真が100行の記事よりも多くの情報を伝えることがあると聞いて、写真の重要性に気づいた。文章の構成は、新聞以外にもする場合があるので、正確で簡潔であること。カタカナ文字を避けるなどといったコツを聞いたのでよかった。取材では、5W1Hを基本とし、情報を整理して、相手に伝えることが大切で6原則を正確に取材した上で、特に重要な点を掘り下げて取材、執筆するという新聞記事の書き方も知れたのでよかった。

私は家で新聞を取っておらず、新聞がどのような過程を通じて自分のもとに届くのかと疑問に思っていました。しかし、今日の講演で疑問を解決することができました。また、新聞のレイアウトについて学び、新聞を読みたい、実際に新聞を手にとって見てみたいと興味を持ちました。神戸新聞ができるまでの過程や記事の書き方、レイアウト、災害時の神戸新聞社の対応、記者さんの動きについて学ぶことができ、知らないことも多くあり、とても勉強になりました。私が特に印象に残っている話が、今の時代ネットを使って原稿を書いたり、送ったりしているけど、デスク会議という話し合いの場を必ず設け、どの記事にするかなどを話し合っていてそれだけ話し合いは欠かせないもので大事なのだとわかりました。私も学校生活でクラスでなにか決め事があるときはしっかり話し合おうと感じました。今日の講演で、新聞、ニュースについてより興味が出てきました。家に帰ったらニュースをまた見てみようと思いました。今日はお忙しい中来ていただきありがとうございました。

今回はお忙しい中講演のためお越しくださりありがとうございました。今回の講話で神戸新聞社の魅力であったり新聞の作り方や事前の質問などから新たに知ったことがたくさんありました。地域に密着したニュースを取り扱っている神戸新聞を僕たちは小さい頃から知っていました。そんな知っている企業から講演を聞くことができたことがとても嬉しかったです。兵庫県のスポーツについてよく拝見することが多く、どのように取材し編集されているのか質問できたことも有意義になりました。新聞社についてもっと知りたいと思えるような講演でした。

そんな講演を用意してもらった方々今回はありがとうございました。

私は新聞社と聞くと、ずっと記事だけを書いて、写真を選んでだけの仕事だと思っていました。でも今日の話を聞いて、実際有名人の方にインタビューに行ったりしていて、忙しいけどとても楽しそうな仕事だと思いました。私は家で神戸新聞をとっています。毎朝、隣にある新聞を見て、じっくり読む時間はないけど、読みたい！！と興味のある見出しがいつも書かれていて、記事を書いている人は読み手に興味を持たせる見出しを書いていてすごいと思いました。記事と一緒にじっくり見たいような写真もあり、またその写真によって記事がより頭に入ってくるのでとても忙しい中でも、読み手に伝わるようにとても考えていると思うと新聞社は凄いところだなと思いました。

今回は講話、ありがとうございました。

私は姫路に住んでいて、あまり神戸について触れる機会はないのですが、神戸新聞を通して神戸のこと、兵庫県のことを知ったところがありました。

私はあまり文章を作成することが苦手で作文も書き始めるのに時間がかかってしまうので新聞づくりはすごいなと思います。

でも、今回作成の仕方などを知ったときに自分でもできるようなことがたくさんあって次文章を作成する際に取り入れてみようと思います。新聞に触れる機会があまりないこの頃ですが新聞は一番正しい情報が記載されていると思っているのでスマホなどで見れると知ったので自分から積極的に触れていきたいです。

今回は本当にありがとうございました。

今回はお忙しい中、わたしたちのために、講演をしてくださりありがとうございました。神戸新聞は毎日のように読んでいますが、いつも読んでいる新聞はたくさんの方の努力でできているのだと感じました。締切ギリギリで新聞に掲載する内容を変更するということがあるため、そのことも考えて配置を考えているということを知り、ただ見やすい配置にすればいいというのではないのだなと思いました。レポートをかかるときや、紙にまとめるときに活用していきたいです。

今回は、お忙しい中神戸新聞についての講座をしてくださりありがとうございました。新聞社で働くということはあまりイメージが初めは湧きませんでした。お話を聞いて新聞がつくられるまでの工程を知ることができ、普段の文章をまとめるときに役立つことや、早く文章を書いたりするときのコツも知ることができてとてもためになりました。また、三好さんが新聞記者になった理由で、弱い人の味方になりたいという思いだったり素敵な思いばかりで、新聞記者の魅力がすごく感じました。三好さんが取材した芸能人や出来事のお話とても面白かったです。貴重なお話ありがとうございました。

僕は、今まで新聞を読む機会が少なくあまり新聞について調べたりすることもありませんでした。しかし今回新聞について様々なことを学び興味が湧きました。僕は学んだ中で特に印象的だったことが2つあります。1つ目は、地震が起きた際の話です。この話で記者の方々は、命懸けで情報収集をしているのだと実感しました。2つ目は、どのような過程で新聞はでき僕達のもとに届いているかについてです。新聞社の方々が迅速で正確な作業や情報収集をさせていただいてるからこそ新聞は、毎朝いろいろな人の手元に届いているということが分かりました。以上挙げたこと以外にも様々なことを学び、それによって新聞の見方がとても変わりました。最後になりましたが今回は新聞についてお話いただきありがとうございました。

今回の講演では、最近のトピックや地元紙の特徴や神戸新聞社の歴史などとても興味のそそられるものばかりでした。

特に興味深く感じたものは、言葉の使い方についてです。例えば、電車に乗るを電車にゆられる、などを用いて新聞を作っていることを聞いて今までの新聞の見かたが少し変わりました。

かつて神戸新聞本社に訪れる機会があり新聞が出来上がるまでの工程の見学をさせていただきました。

そして今回の講演があったためなにか神戸新聞とつながるものがあるのかなと思いました。

これまで神戸新聞社ではいろいろな経験をさせていただいたためとても感謝しております。

今回は、須磨学園高等学校に三好様の仕事をして来た中での経験や新聞社について教えてくださいありがとうございました。

今回は講演をさせていただきありがとうございます。正直、新聞社に入りたいとは思っていなかったのですが、話なんだろうと思っていましたが、話を聞くと新聞を書く手法は学校でも活かせるようなものがたくさんあり、とてもためになりました。特に長文をまとめるコツや文章を書く際の工夫が聞いたのが嬉しかったです。今度から自分もビジュアル化することで内容理解を深めたり、日常に目を向け、ニュースや歌詞などから自分なりの文ができるようにしていきたいと思います。

新聞を作るまでに多くの人たちが関わり、私達の手が届いているのだと改めて気づきました。スライドや動画を使って説明してくださったので、新聞社について詳しくない私でも分かりやすかったです。記事の書き方の説明は、私がこれから作文やレポートを書くときにも使えるような、ポイントを教えていただいたのでとても勉強になりました。最後にインターネットが普及している今の世の中で、新聞はいるのかという話になりましたが、私は紙の新聞が必要だと思います。実際に手に取って文章を読んだり、写真を見たほうが印象に残ると思うし、年齢や生活環境のなどに関わらず、すべての人が簡単に情報を手に入れられると思ったからです。

今回この講演を聞いて、知らなかったことや新たな発見がたくさんあったので、これからの生活に役立てていきたいです。

今日は本当にありがとうございました。

今まで新聞社などに触れる機会もなくどんな仕事をしているのか、どのように新聞が届けられるのか、なぜあんなにはやく世間のニュースを取り入れることができるのか、など全く知識がなかったのですが、今回を機に知らない驚くようなことがいくつも知れてとても興味を持つことが出来ました。中でも驚いたのが事前にニュースになりそうな出来事の文をあらかじめ考えて、写真を入れるだけで完成という段階まで、事前に用意しておくということです。紙の媒体でありながら、あれほどはやく速報として私たちの手に渡る理由を知ることが出来ました。震災などの教訓、人の命に関わる責任の重大さ、など様々な学びがありました。地域の新聞ならではの特徴や、内容の充実さ、詳しさ、など、神戸新聞に誇りを持ってお仕事をされているんだな、と感じました。

私の家でも神戸新聞を購読していて、普段は何気なく手に取って読んでいましたが今回の講演を聞いて記者の方々が込めている思いを知ることができ見方が変わりました。私は明石に住んでいるのでどうしても見る内容が明石に関するものに偏ってしまいがちですがこれを機に他の地域の記事も読んでみようと思いました。正しい報道をするためにレイアウトから使う言葉まで沢山の工夫をされていることに感動しました。これからも新聞を読んで自分の知識を深めていきたいと思います。ありがとうございました。

私は、小学生の頃から、新聞を書いたり、読んだりすることが好きで興味があった為、三好様のお話を伺うことが出来て、本当に良かったです。
特に、新聞記者が新聞を書くときに結論から先に述べた後に、具体例を書くことでいつでも新たな話題に対応出来るようにしている所が、記者ならではの素晴らしい所だと思いました。
また、そのような工夫はざっくりとした内容だけを知りたい人も、楽しんで読められる合理的な、良い工夫だと思いました。
三好様のお話を心に留め、これからの人生に活かしていきたいと思います。
ありがとうございました。

神戸新聞や記事のことについて詳しく教えてくださいありがとうございました。私は普段あまり新聞を読んでいませんでしたが、今日の講演で新聞は私たちにとっても大切なことを伝えているのだとわかりました。新聞は読む人に内容がしっかり伝わるようにたくさんの工夫がされていると知り、興味を持ってました。また、私は文章を書く力をつけたいと思っていたので、文の構成やより伝わりやすい文章のことを聞けて勉強になりました。今日学んだことをこれから活用していきたいです。

新聞を作るときに工夫や気を使っていることなどの他に、震災や事件といった忘れてはいけない、語り継がないといけないというとても自分のためになるお話をしてくださってありがとうございました。人に伝えることには正確さやわかりやすさが大切でどんな世代にもわかりやすく伝えたいという思いが普段私たちのもとに届いている新聞に込められているんだと感動しました。今日お話の中で感じたことを胸に留めてこれからの高校生生活だけでなく、その後社会に出てからも自分が暮らしている世界に対してなにかできることはないか考え続けたいです。

この度は、わざわざ須磨学園へ足を運んで講演をしていただき本当にありがとうございました。中学の時から阪神淡路大震災について震災学習を行っていて、実は神戸新聞について取り上げられた映画も見ていました。その映画からも現場の臨場感や神戸新聞さんの取り組み、努力が存分に伝わってきましたが、今回直接話を聞かせてもらってより具体的な取り組みに加えて、効果的に伝わる新聞・文章の構成なども知ることができました。文章というものは人によって違った伝わり方もある中、誰もが分かりやすいと思う新聞を追求する神戸新聞さんは本当に素晴らしい会社だと実感しました。大変なお仕事とは思いますが、神戸新聞が長く愛されるものであることを願っています。

今回はお忙しい中、僕達のために講演を開き、僕達の質問に真摯に細かく返答してくださりありがとうございました。新聞記者としての仕事やインタビュー時に気をつけていることなど、他では聞くことのできない貴重なお話を聞くことができ、とても充実した時間になりました。中でも一番印象に残ったのは、阪神淡路大震災時のお話です。災害に見舞われ混乱の渦に吞まれている人々から不安や絶望感を取り除くために、京都新聞社と協力して新聞を発行し続けるその志と仕事にかける情熱に胸を打たれました。僕も、「自分はこのためにこの職業に就いているんだ」ということを胸を張って言えるような人間になれるよう精進しようと思いました。

私は以前松方ホールでリサイタルを開催した際、大変お世話になりました。今回はその理由もあって神戸新聞をキャリア教育の第一希望にさせていただきました。今日の講演会では新聞に関する書き方、記事の内容などについて色々学ぶことができ、記者としてのやりがいや有名人に会えるなどについて知り、新聞記者に対するイメージも変わったので、とても充実した講演会でした。

新聞の記事の書き方や構成の仕方について深く教えていただけただけでなく、阪神淡路大震災の教訓から、たとえメディアや新聞に携わらなくても必要になってくる知識等も教えていただけてとても良かったです。最近の話題などにも触れていただき、とてもわかり易かったです。新聞についての諸知識や地方紙の果たせる役割について知ったことで、神戸新聞がもっと身近に感じました。社会に出て、親から自立したら、神戸新聞を毎日読んでみようと思いました。本日は本当にありがとうございました。

僕は今回の講演はとても楽しい気持ちで受けさせてもらったと思っています。まず神戸新聞や新聞についてたくさんお話をしてくださったのでとても勉強になりました。また、スライド1つ1つがとても見やすく分かりやすく、情報が頭に入って来やすかったです。スライドの途中で何度か音楽や動画なども流れていて、話をずっと聞いていられました。震災の頃の経験について話されていたときの三好さんが少し重々しそうな表情をしていて、色々大変だったんだなと思いました。実際、神戸新聞の本社に行ってみたかったです。今回、講演を学校で受けてみて、とても面白かったので良かったです。本当にわざわざ、須磨学園に来て、僕たち生徒に講演をして頂きありがとうございました。

まず初めに全ての質問に答えてくださりありがとうございます。一つ一つの質問の回答がわかりやすく神戸新聞のことについてよく知れました。また、歴史に残るような出来事があった時、記者の方々は何をどのように新聞にまとめたか、詳細に述べていただき現場がどのような状態だったのかよく分かりました。ここで質問なのですが神戸新聞を取り上げた映画[神戸新聞の7日間]は実際に映画の方々が取材に来て映画を作ったのですか？その部分がとても気になります。

今回わたしたちに身近なニュースがどのようにして、どのような方の努力によって伝わっているのかということ学びました。

また、新聞の見出しやレイアウトにも、どうすれば読者が興味を持ってくれるかなど、わたしたちが何気なく見ている内容も細部まで考えてくださっていることを知り、感動しました。そして、普段のニュースだけでなく、災害時の情報なども、実際に現地に行き、取材してくださっていることを知り、情報を人々に伝えることを常に意識して行動しているその姿は、素晴らしい仕事魂だなと思い、私も将来医師になったらそのような意識を持って働きたいなと思いました。貴重なお話をありがとうございました。

今回は、僕達のために、須磨学園に来ていただき、ありがとうございました。僕は、震災の記事や写真を撮るのはつらいと思っていましたが、阪神淡路大震災の話で、被災者に希望を与えるような記事を書くのが役目だとおっしゃるのを聞き、新聞社はとても重要な存在なんだと知りました。

レイアウトの話では、あらかじめ本文を書き、写真を貼るだけのところまで仕上げていたり、速報をすぐに入れられるように記事を書いていると知り、たくさん工夫がされているのだと知りました。今回学んだことは、作文や論文を書くときにも取り入れられると思うので、忘れないようにしたいと思います。ありがとうございました。

本日はお越しいたき、本当にありがとうございました。今まで知らなかった、新聞の作成の仕方や新聞記者の仕事などの興味深い話をたくさんして下さり、とても興味がわきました。また、三好様が実際に経験した話や実話など、驚くような話がたくさんありました。とてもおもしろかったです。普段、私は神戸新聞を読んでいます。あれだけの膨大な情報量を持ち味の文章力とレイアウトの技術を用いて作成されている点に、日々とても感銘を受けています。これからも神戸新聞のおもしろい記事を楽しみにしています。

今回の講演では、神戸新聞がどのような会社でどのようなことを行っているのかや、新聞の作り方について知ることができてよかったです。新聞は記事を目立たせる配置や、どのような内容かがすぐにわかり、読者の興味をひくような見出し作りなど、さまざまな工夫がされ、作られていてすごいと感じました。この度は、講演に来てくださり本当にありがとうございました。今回の講演で学んだことをこれから活かせるよう頑張りたいです。